

古代の群馬から 東アジアの未来を考える シンポジウム

—百済(백제) destination 東国(あづま)—



群馬がはばたくエンジンとして、国際戦略と東国文化の結合を一助におく事は、今後大きな発展に繋がると考えられます。その第一歩として、かつて群馬が、東国（あづまのくに）と呼ばれた時代に、非常に深い関係にあった百済（くだら・ペクチェ）との交流の姿を掘り起こし、今、未来に向けた礎を作ろうと起案しています。

昔、上毛野君（かみつけののきみ）と呼ばれる王者は、百済救援軍の将軍でした。また、上毛野君の祖先たちは、百済から博士を招く使いをしたり、百済軍と共同の行動をとる事があったようです。『日本書紀』には、そうした内容も記されています。

時同じくし、百済の都のあった韓国・忠清南道の方々もまた、同じように、私たちと未来志向の深い交流を望んでおられる事を知りました。

そこで今回、韓国文化院、忠清南道要人の方々にも、群馬にお見え頂き、シンポジウムを開催する次第となりました。

師走に入り、公私ともどもご多用中とお察し致しますが、万障お繰り合わせの上、是非ともご参加頂きますよう、宜しく願い申し上げます。

日 時 12月1日（土）15:00～17:00
会 場 県庁2階のビジターセンター
主 催 群馬県観光物産国際協会
共 催 日韓交流議員連盟
後 援 群馬県
パネリスト 洪 萬杓先生（忠清南道国際チーム長）
熊倉浩靖先生（群馬県立女子大学教授） 他

*御出欠は、お手数ですが11月30日までにFAXにてお願い致します。

ご氏名（ ）どちらかに○をつけてください。
所 属（ ） 御出席 御欠席

日韓交流議連事務局 FAX 027-221-4721